

防災通信

「ざざ」という時、使えますか？・AED

ダブルエッチジャーの皆さまお疲れ様です。防災委員会です。いきなりタイトルで上から目線で言ってしまうかもしれませんが実は私自身もAEDについては、昔、受けた救命講習で少し触れた程度で使い方もほとんど忘れていました。ですが先日、地域の防災訓練に参加した際、配られたチラシの中にAEDを啓発するアプリの紹介がされていたので今回はそのアプリを実際に導入してみようだったのか？レポートしていきたいと思います。

それではアプリの紹介の前にまず皆さんもご存じとは思いますが、おさらいの意味を込めてAEDとは何か？解説していきたいと思います。AEDとはAutomated External Defibrillator、Defibrillatorの頭文字をとった略語です。日本語で言うところ「自動体外式除細動器」と訳します。心臓発作を起こした人の心臓が震えている状態の時に電気ショックを与えることで、自動的に心臓の働きを正常に戻すための機械です。と言葉

で説明すると何だか大変そうに思えます。しかし実際にAEDに触ったことがある方は分かりますが操作が簡単だと思いますが操作が簡単すぎるので音声ガイドにしたがって操作すれば、ほとんどの方が無理なく使用できると思います。ただ実際にAEDを使用するシチュエーションがそれぞれその人の生死を左右する場面であること、それにより人はパニックを起こし正常な判断で行動できなくなるのがAEDを扱う上で最も困難な課題になると言えます。そ

ういった現状の中、どうしたら皆が正しい判断で正しい行動が出来るか？講習や研修等で実際に体験してもらうことが一番早いとは思いますが、時間や場所等の制約もあり中々浸透させるのは難しいと思います。そこで今回紹介させていただくアプリを活用し、様々なコンテンツを体験することで、まずは知識面でAEDの存在を身近に感じてもらうながら理解を深めていただけたらと思います。

それでは実際にアプリの紹介をさせていただきます。

主な機能紹介

①AED検索機能

このアプリのメインとなる機能で押すだけで現在位置からAEDがある場所を調べてくれます。しっかりと道順の案内も地図に沿って示してくれるので迷うこともありません。AEDの設置場所については投稿することもできるのもし地図上に無くて自分が知って

いるAEDの設置場所があれば投稿することでさらに充実したMAPになっていきます。

②救命ナビゲーション

AEDの操作方法や救命について学ぶコンテンツです。内容的にもかなり力が入っていて、「AED財団×うんごドリルAED編」はこどもに大人気のキャラクター「うんごドリル」を扱ったコンテンツで小さな子供さんと一緒に楽しみながらAEDについて学べるものになっています。また、このコンテンツにはもう一つ大きな作品があります。それが「心止村、湯けむり事件簿」です。この作品は俗に言う2時間サスペンスドラマ風に構成されていて俳優さん達の迫真？の演技をみながらAEDの使い方や学び、事件を解決していく推理ゲームものになっています。

③ゲームポイント機能

アプリ内で色々なコンテンツを利用することでポイントがたまっていき、そのポイントを使ってクイズに挑戦して段位をあげたり、ガチャを引いて新しい

キャラクターを手に入れたりとソシャゲ風な要素もありコレクション欲を掻き立てられます。

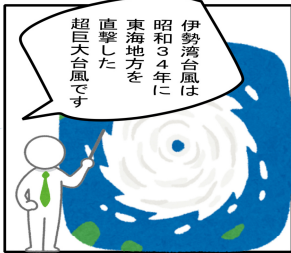
④その他の機能

他にもこのアプリを利用している仲間とのシェア機能があり、アプリが誕生するきっかけになった出来事を紹介する動画や各面のメッセージ等、AEDや救命に関わる動画が多数アップされています。

以上、今回はAEDに特化したアプリを紹介させていただきましたがいかがだったでしょうか？普段はあまりAEDを使うような場面を意識することは少ないとは思いますが、もしもの場面はいつ来るかわかりません。このアプリさえあれば万事大丈夫だとは思いますが、普段から少しずつでも意識しておくことで有事の際には大きな力になると思います。皆様も今回の記事で少しでも興味を持たれましたらぜひアプリを導入してみたいか？(松原)

伊勢湾台風

P.N セッキー



救命サポーターアプリの主な機能

救命サポーターアプリは、救命サポータープロジェクト team ASUKAに賛同する仲間をつなぐアプリです。日ごろからAEDに関わる情報を共有し、いざというときの救命行動につながることを支援します。

AED検索機能

近くにあるAEDを確認しよう！

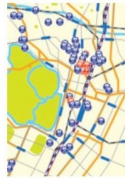
ワンクリックで、近くにあるAEDを検索できる機能です。緊急時に備えて、AEDの場所を確認しましょう。最寄りのAEDがまだ登録されていなかったら、登録して仲間と共有してください。



AEDマップ AED N@VI

みんなでAEDマップを作ろう！

AED N@VIでは、全国のサポーターにより登録されたAEDをマップ上に表示。サポーターからの情報をもとに登録・更新を行うことで、常に最新の正確なAEDの位置情報が確認できます。



頭が真っ白になることを前提にAEDはつくられている。AEDを動かすのは勇気じゃない。知識だ。

救命ナビゲーション

救命処置の方法を確認しよう！

目の前で人が倒れた時の救命処置をリアルに体験できる心肺蘇生のEラーニング等を紹介しています。事前のトレーニングでいざという時に備えましょう！



ゲーム・ポイント機能

アプリで貯めたポイントで、クイズに挑戦したりガチャでキャラクターを集めよう！

AED N@VIで登録をしたり、アプリ内のコンテンツを利用したりすることで、ポイントを貯めることができます。貯まったポイントでクイズに挑戦して知識を深めたり、キャラクターを収集したり、楽しみながら活動を広げましょう。



仲間とのシェア機能

自身の経験や大使やサバイバー、家族からのメッセージをシェアし、仲間を広げよう！

ポイントランキングやアプリ内のコンテンツをSNSで仲間にシェアすることができます。知識や経験をシェアし、救命の輪を広げていきましょう。



team ASUKA 救命サポーター

今すぐアプリをダウンロード

ダウンロードはこちらから↑

避難先のトイレ対策について

ダブルエッチジャー皆さまこんにちは、防災委員会の森下・杉江です。突然ですが皆さまは大きな災害が起こった後、避難先での困り事ランキングで毎回上位に来るものは何だかご存じでしょうか？意外にも水や食料についての不満はそれほど多くはなく、それよりもプライバシーの確保やトイレの確保が大きな不満として挙がってきています。そこで今回、私たちのチームは災害時に使用する簡易トイレの種類について調べてきましたので良かったら参考にして頂けると幸いです。

感染症を考慮した避難所での避難生活においては、インフルエンザや肺炎、感染性胃腸炎等の感染症対策が必要です。また昨今にはこれらに加えて新型コロナウイルス感染症対策が喫緊の課題となっています。そこで、避難を考える場合は密集を避け、分散して避難することが求められることとなりました。具体的には指定避難所だけではなく、親戚、友人宅、ホテル、旅館、車中、自宅などを避難先として検討する必要性もあります。いずれの場所に避難するとしても、トイレ対策が不可欠であり、トイレの備えがなければ、その場の環境が不衛生となるため、健康維持が困難となり感染症の発生リスクも高まります。つまり避難先とトイレ対策をセットで考える必要があるということになります。

主に屋内使用



携帯トイレ

断水や排水不可となった洋式便器等に設置して使用する便袋を指す。吸水シートがあるタイプや、粉末状の凝固剤で水分を安定化させるタイプ等がある。



簡易トイレ

持ち運びできる小型トイレ。トイレ不足や洋式便器がない場合に用いる。携帯トイレを取り付けるタイプや機械で密封するタイプ等がある。

主に屋外使用



マンホールトイレ

事前に整備された下水道管路や貯留槽のマンホールの上に、専用の便器や上屋を設け、トイレ機能を確保する。貯留槽に溜めるタイプは汲み取りが必要になる。



仮設トイレ

イベント会場や工事現場、災害避難所などトイレが無い場所、またはトイレが不足する場所に一時的に設置されるボックス型、もしくは組み立て型のトイレ。

上の4つは内閣府（防災担当）の「避難所等におけるトイレの確保・管理ガイドライン」に登場する4タイプの災害用トイレです。上段の「携帯トイレ」「簡易トイレ」は、主に屋内で使用するタイプで、下段の「マンホールトイレ」「仮設トイレ」は主に屋外で使用するタイプです。これらの特徴を踏まえて避難所に適切に配置することが必要があります。また、発熱者等や濃厚接触者が滞在するゾーンにおいては、専用の災害用トイレを備えなければなりません。結果そのような状況も想定して災害トイレを備える事が必要だと思われます。

最後にマメ知識として、ご自宅でペットを飼っている方は非常用トイレまたはトイレにビニール袋をかぶせて市販の猫砂を入れて活用すると匂いが少なくなり、消臭効果が期待できます。（森下・杉江）

私達の避難訓練！(やまぼうしの郷編)

私達の勤務する障害者施設では、年2回以上の自衛避難訓練が法律で義務付けされています。防災委員会では、ダブルエッチジェー各事業所の避難訓練(火事・地震・水害等)を特集していきます。法人内の他事業所で、どのような避難訓練を実施しているのかを知ること、少しでも自事業所での訓練の参考になれば幸いです。

初回は半田地区のグループホーム・やまぼうしの郷の小規模火災避難訓練を取材しました。

【事業所概要】

やまぼうしの郷は、半田市運動公園近くにあるグループホーム(共同生活援助)で主に重度障害のある方が住まれています。同敷地内に3住居(ダイナ・ティガ・レオ)あり、現在18名の方が共同生活をしています。夜間は各住居1名の世話人で6名のご利用者の対応をしています。

【今回の訓練設定】

夜間ダイナ棟での火災を想定した避難訓練を行いました。

【訓練の流れ】

(事前準備)世話人で打ち合わせ→利用者は自身の部屋で待機します。

(訓練開始)

訓練では、リアリティを出すために、動画サイトの「火災報知器の音」を使用します。

世話人火が元発見!!! →→ 初期消火失敗☹ →→ 建物から避難!!!



他棟の世話人も応援に駆け付け、利用者を安全に外へ避難誘導し人数確認を行います。



避難終了後は、管理者からのコメントを皆で聞きました。
※管理者はオンラインで訓練の様子を確認しました。

【まとめ】

グループホームの夜間は、日中に比べ職員の数が圧倒的に少なく、火事等発生時は、少人数でご利用者を安全に避難させる必要があります。消火・避難・通報等の流れを毎年の避難訓練で行うことで、夜間の少人数体制においても、焦ることなく対応する力が養われていきます。(天木・水野)

【おまけ】

9/1(金)防災の日に、あいちシェイクアウト訓練が実施されます。正午の時報に合わせて、その時自分がいる場所で行う訓練です。

訓練のシナリオ
あいちシェイクアウト訓練実行委提供

しせいをひくく

1

あたまをまもり

2

じっとする

3

9月1日 地震から命を守る訓練
あいちシェイクアウト
100万人目標 参加募集

地震の揺れから自分の命を守る行動を身に付ける「あいちシェイクアウト訓練」が、防災の日の九月一日正午から一分間、県内全域で実施される。主催する県は百万人の参加を目指し、八月末まで申し込みを受け付けている。

訓練では正午の時報を合図に、参加者がそれぞれいる場所から身の安全を守る行動を行う。具体的には姿勢を低くし、頭を守り、じっとする。防災の日だけでなく、参加を表明して都合のよい日に実施してもよい。

二〇一三年度から毎年行っているが、最も多かったのは二年度の九十万三千九百九十人で百万人は達成していない。二年度は八十万七千四百八十四人だった。大村秀章知事は二十二日の記者会見で「住宅耐震化や家具の転倒防止対策の推進に加え、自分の命は自分で守る訓練を通じて防災意識の向上につなげたい」と参加を呼びかけた。

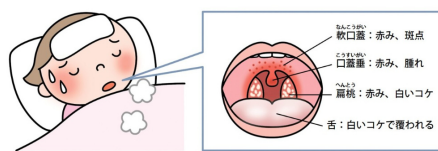
参加方法は申し込みサイト「あいちシェイクアウト訓練」で検索から必要事項を入力するか、ファクス052(954)6911で参加を表明する。対象は県内全域の県民、企業、学校、グループなど。県外の人も参加できる。(梅田歳晴)

※中日新聞朝刊(2023. 5. 25 版)

知ってますか？溶連菌



～溶連菌はこうしてうつる～



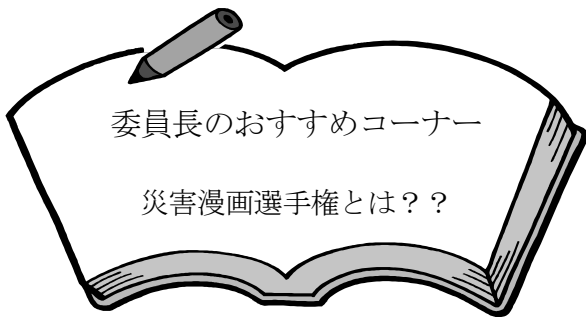
溶連菌感染症の予防法

- 手洗とうがいをしっかり行う
- 栄養バランスのいい食事を摂る
- 十分な睡眠時間の確保
- ストレスを溜めないようにする

コロナが5類になり、マスクが自己判断になり、世間が変わりつつありますが皆さん体調管理は万全でしょうか？さて今回は感染症の中でも喉の違和感、痛みが特徴的な溶連菌についてまとめたいと思います。喉が痛い、熱が出たという体調不良に対して、何故か今流行っているインフルエンザ、もしくはコロナと似ているため、そちらを懸念するかと思えます。でもそれ、溶連菌感染症かも知れません。溶連菌は喉の痛みと発熱、そして咳や鼻水が出ないのが特徴です。人によつては手足に赤い発疹が出たり、舌の表面に赤いフツフツができたりします。扁桃腺の弱い方は比較的にかかりやすいとのこと。一昔前は6歳から15歳の学童に多く見られましたが、最近は大人も増えてきているそうです。溶連菌が1番活発になるのは1月から4月とのことですが、これはあくまで流行期であり、常に感染の危険があるとのこと。感染が分かったら、会社や学校は休みましょう。基本的に抗生物質を飲み始めて24時間経過すれば感染力はなくなり、症状も2〜3日で治ります。熱が下

がり他の症状がなければ出社しても大丈夫です。感染経路は咳やくしゃみなどの飛沫感染とタオルや食器を通して感染する接触感染があります。

今回は溶連菌について調べてみました。個人のイメージでは子供の病気でしたが大人もかかり、感染力も強く、発症したら休むべきと聞くと職場で広がってしまったらコロナを思い出すことになりそうですね。手洗いうがいを徹底し日々軽い運動を取り入れ、体力をつけておくことが健康管理には大切だと改めて感じました。最後まで読んで頂き、ありがとうございました。(石川、菅野)



ダブルエッチジャーの皆様こんにちは。
防災委員会委員長の松原です！！

このコーナーでは毎回、私自身がこれまで見たり聴いたり体験した事の中でこれはいいなど思う素材を紹介していくコーナーです。

今回は第5回目ということで災害をテーマにした漫画選手権となるものが存在することが分かりましたので紹介していきたいと思ひます。

それでは第5回目スタート！！

これまでこのコーナーでは備蓄品の紹介に始まり、その後、災害時に役立つアプリや啓発のための映画、ゲームなどを紹介してきました。基本的にこのコーナーでは自分が興味のあるメディアに偏ってテーマを決めてきた訳ですが、そういえば大好きな漫画をテーマにしたことは無いなあと、面白そうな防災漫画がないかとネット検索をしていると不意に目に飛び込んできたのが今回ご紹介する「防災まんが選手権」です。

それではまず最初に「防災まんが選手権」について簡単に説明させて頂くと、この選手権は高知県の危機管理部、南海トラフ地震対策課が主催となって令和3年に第1回大会が行なわれ、昨年第2回大会も行なわれました。

次に簡単に募集漫画のテーマですが第1回大会では「こんな防災があればいいのにな！」をテーマに1枚まんが（4コマ以上）を公募し、優秀者には賞金も出たようです。さらに昨年行われた第2回大会ではフリー部門に加え、津波避難についての公募と2部門制になり年々パワーアップしている様子です。



上の作品はそれぞれ第1回大会と第2回大会の大賞を受賞した作品です。（このままでは小さくて見にくいので興味のある方はこの記事の一番下に記載してあるURLをクリックして頂けると他の受賞作品と一緒に読むこと出来ます。）どちらの作品についても言えることですが、さすがに大賞を取るだけあって画力が非常に高く見やすくパッと内容が頭に入ってきます。まさに防災とは決して難しいものではなく、誰もが気軽に取り組んでいける、そんなテーマが作品全体から伝わってきました。

もし今年も開催されるなら、私は絶望的に絵心が皆無（悲）なので無理ですが、うちの4コマ職人セッキーならワンチャンあるかも！？

第1回大会のその他の受賞作品はこちら↓

https://mangaoukoku-tosa.jp/page.html?page_id=499443406206

第2回大会のその他の受賞作品はこちら↓

https://mangaoukoku-tosa.jp/page.html?page_id=764114491016

皆々今度も防災通信をご覧いただきありがとうございます。早いもので昨年度から発行させて頂いておりますこの防災通信も5回目の発行を迎えることができました。これもひとえに読んでいただける皆さまの応援のおかげだと委員一同感謝しております。

今回の記事はAEDアプリの紹介に始まり、回を重ねるごとにクオリティUP中の4コマ漫画、簡易トイレや溶連菌といったように多方面から防災に関する記事を掲載させていただきました。中でも避難訓練レポートは一施設の訓練の様子がよく分かるようになっていて、ぜひ自施設の避難訓練時の参考にしたいだけだと幸いです。

今回の訓練のように今後はこういった直に体験した出来事も積極的に記事にしていきたいと思っておりますのでどうぞこれからも防災通信をよろしくお願いたします。（松原）

編集後記